

薬剤投与時に必要な検査の提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は薬剤投与時に必要な検査を把握し、提案することで薬剤の適正使用に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

- ▶ 統合失調症の薬剤調整中の患者。
糖尿病の疑いあり。

A さん



【処方】セロクエル錠 100mg 1 回 2 錠 1 日 2 回 朝夕食後 7 日分

A さんはセロクエルの内服調整をしているな。
血糖値のモニタリングはできているだろうか。
採血検査は投与開始から 2 か月行って
いないみたい。医師に確認してみよう！

医師



そうですね。血糖値測定が必要な薬剤でしたね。
どのくらいの頻度で測定すればいいですか？



薬剤師

はい。A さんは糖尿病の疑いがある境界型ですので、
投与開始後 1 か月と 3 か月、その後は 3 か月ごとが目安
になります。



なるほど！
では検査項目にグルコースと HbA1c (NGSP 値)を追加
しましょう。早速測ってみます！



よろしくお願いします。



……………検査結果……………

血糖コントロールに大きな問題はありませんね。
これからも定期的にモニタリングを継続していくようにします。



必要な検査項目の追加を依頼することで適切な薬物治療に貢献できた。